

① 令和5・6年度右俣谷第4号上流砂防堰堤工事における安全対策について

美笠建設(株) 令和5・6年度 右俣谷第4号上流砂防堰堤工事
工期：令和 5年 7月 5日 ～ 令和 6年 10月 31日
(中止期間：令和 5年 11月 15日 ～ 令和 6年 4月 14日)



現場代理人 宮崎 光夫
もりた まさとし

監理技術者 ○森田 雅俊

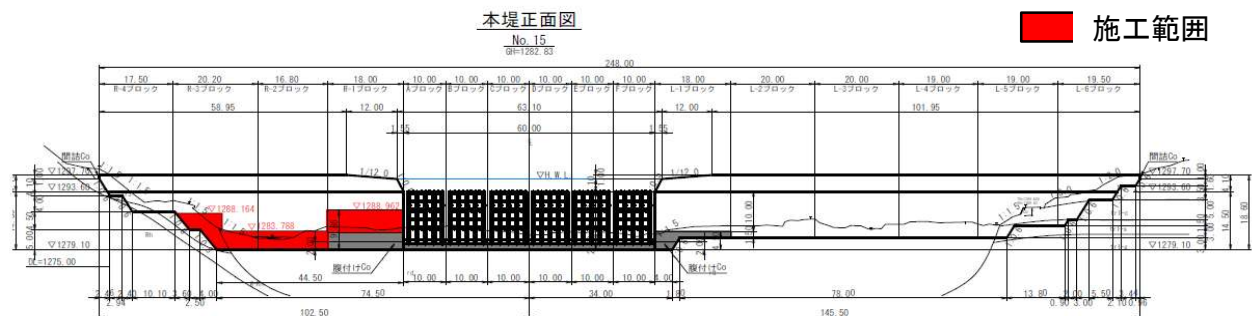
【キーワード】 土石流、登山者、熱中症

1.はじめに

本工事の施工箇所は、中部山岳国立公園内の右俣谷に位置します。右俣谷には、複数の砂防堰堤が構築されており、その中の右俣谷第4号砂防堰堤と右俣谷第5号砂防堰堤の中間地点に堤長248mの鋼製スリット砂防堰堤を新設する工事です。

本稿では、当工事において実施した安全対策について報告します。

2.工事概要



砂防土工

掘削工 2700m³

埋戻し工 570m³

法面整形工 1式

コンクリート堰堤工

作業土工 420m³

コンクリート堰堤本体工 3121m³

護岸補修工 1式

仮設工

仮橋・仮栈橋工 1式

砂防仮締切工 1式

仮水路工 1式

3. 土石流対策

3.1 課題

高原川流域は全国でも有数の山地荒廃地帯であり、特に蒲田川上流部の水源一体は、荒れ果てており何度も激しい土石流が発生しています。蒲田川の支流である右俣谷周辺でも土石流が発生しているため、土石流対策をおこないました。

3.2 対策と効果

施工箇所より1000m上流の右俣谷第5号砂防堰堤上流と支流の柳谷にワイヤセンサーを張り、ワイヤが切断した場合に作動する警報装置(サイレン・回転灯)を施工箇所から見える位置に設置しました。また、右俣谷第5号砂防堰堤を見通せる位置に監視カメラを設置し、水位や濁りをモニター監視できるようにしました。



ワイヤセンサーが切断し警報装置が作動することはありませんでしたが、降雨による警戒体制時には、土石流監視員が現場事務所で河川のモニター監視をおこないました。

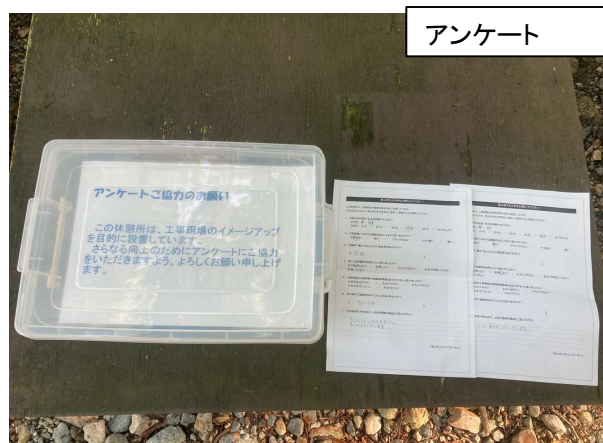
4.登山者に対する対策

4.1 課題

当工事は、北アルプスの麓での施工となります。工事車両が通行する右俣林道は、槍ヶ岳への登山ルートであり、年間を通して多くの登山客が訪れます。そこで、工事による迷惑や危険が生じぬよう登山者への配慮が課題となりました。

4.2 対策と効果

右俣林道沿いに登山者休憩所としてテーブルとベンチを設置しました。休憩所に塩タブレットとアンケート用紙を置いたところ、たくさんの利用者の方にアンケートを記入して頂き、いろいろな意見を聞くことができました。



登山者さまの声を聞かせてください！

この体験所は、工事現場の環境改善を目的に設置しています。
さなる向上のため、登山者さまの貴重なご意見・ご感想などをお聞かせください。

1. お客様の性別、年代をお聞かせください。
【性別：男・(女)】
【年代：10代　・　20代　・　30代　・　40代　・　50代　・　60代以上】

2. 工事現場(ここ)のような施設があるところどう思いましたか？
(大変良い) ・ 良い ・ どちらでもない ・ やや悪い ・ 悪い

3. 体験所に備えてあったよい物品等はありませんか？
【 テーブルというが組み立て式でとても
お役にたいてます。 】

4. またこの体験所を利用したいと思いませんか？
ぜひ利用したい ・ 利用したい ・ どちらでもない ・ あまり利用したくない
利用したくない

5. 注意喚起の工事看板や環境説明看板はわかりやすいと思いましたか？
大変わかりやすい ・ わかりやすい ・ どちらでもない
ややわかりにくい ・ わかりにくい

6. 当工事がご迷惑をおかけしたことはありませんか？
はい、ありません。 土砂が落ちて
いすべり防止に役立っています。 【 はい、役に立っています。 】

7. その他お気づきの点や、上記の評価の理由をお記入ください。(作業量が増える)
(このおかげで冬眠期間が短縮されるので助かります。)
是非中 お世話になっております。おまわりして頂きたい。

ご協力ありがとうございました。

『良い意見』

- ・大きなトラックも道を譲ってくれて親切だった。
- ・テーブルと椅子があるだけでとてもありがたい。
- ・登山者への心遣いありがたい。

『改善点・要望』

- ・工事車輛はヘッドライトを点けてほしい。
- ・休憩所に灰皿があったらよい。
- ・休憩所にトイレがほしい。
- ・休憩所のベンチを増やしてほしい。
- ・近くに水場があったらよい。
- ・休憩所に屋根があったらよい。
- ・休憩所に飴を置いてほしい。

また休憩所を利用したいという意見が多く見られました。今回の工事では対応が難しい要望もありましたが、ベンチの増設や工事車輛のライト点灯運転はすぐに実施しました。

5. 熱中症防止対策

4.1 課題

近年、平均気温が上昇していることや、施工箇所には日陰が少ないことから熱中症防止を課題としました。

4.2 対策と効果

施工箇所近くにタープテントを張り、日陰で休憩できるようにしました。休憩スペースには、冷えた飲み物と塩飴を置き、こまめに水分及び塩分補給をおこないました。



熱中症計を現場事務所と現場内の両方に設置して随時確認できるようにしたほか、熱中症危険度が高まると本人はもちろん、周りにもランプとブザーで知らせてくれるMe-mamo (ミーマモ) を使用しました。



6. おわりに

工事期間中には大雨もありましたが、工程に影響を及ぼすこともなく、無事故・無災害で工事を終えることができました。今後の工事では、より一層安全管理には工夫を凝らし進めていきたいと思います。

最後に工事施工中にご指導いただきました監督職員の皆様に深く感謝申し上げます。